

(6月12日) : 買い需要は増加せず、下落

ベトナム株式は水曜日に低い流動性の中で下落した。投資家は相場に対して弱気心理で、様子見姿勢を強めておりわずかな資金流入にとどまった。

ホーチミン取引所のVN指数は0.82%下落し、954.17ポイントで取引を終えた。

107銘柄が上昇したのに対し、183銘柄が下落した。

出来高は1億3800万株で、売買代金は3.9兆ドン(1億6700万ドル)ほどであった。

VN指数は火曜日に0.09%下落し、962.07ポイントで取引を終えていた。

ハノイ取引所のHNX指数は0.38%下落し、103.56ポイントで取引を終えた。

出来高は2730万株で、売買代金は2950億ドンほどであった。

HNX指数は火曜日に0.04%下落し103.95ポイントで取引を終えていた。

買い需要が依然として弱かったために、大型株の下落が巻き起こり、指数は大引けにかけて下落して取引を終えることになった。

主な下落銘柄は、ベトナム投資開発銀行(BID)、ベトナム産業貿易商業銀行(CTG)、ペトロベトナムガス(GAS)、ペトロリメックス(PLX)、フーニュアンジュエリー(PNJ)、ビンホームズ(VHM)などであった。VHMは2.3%下落し80,000ドンで取引を終えた。GASは2.4%下落し101,500ドンで取引を終えた。PNJは2.8%下落し76,700ドンで取引を終えた。

世界の原油価格も下落した。ブレント原油先物指数は98セント下落し61.31ドルで取引され、WTI原油先物指数も92セント下落し52.35ポイントで取引された。

ベトナム市場でも、石油ガス関連銘柄であるペトロベトナムドリリング(PVD)、ペトロベトナムテクニカルサービス(PVS)、ペトロベトナム建設(PVC)などが下落した。

反対に、モバイルワールドインベストメント（MWG）、キドコーポレーション（KDC）、HDバンク（HDB）などの銘柄は上昇した。しかしそれらの銘柄の上昇はわずかで、市場を大きく押し上げることはできなかった。

VN30 指数は 0.63% 下落し、865.42 ポイントで取引を終えた。30 銘柄の内 4 銘柄のみが上昇し 25 銘柄は下落した。

保険、銀行、建設、証券、不動産、採掘、小売り、IT などが大きく下落した。

それらのセクター指数は 0.34-2.17 ポイント下落した。

UPCOM 指数は 0.03% 下落し 55.12 ポイントで取引を終えた。同指数は火曜日に 0.55% 下落し、55.13 ポイントで取引を終えていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。